



総会ウォーク(旧富士登山道を行く)

2015.01.25 普通 16km ゆったり 12km

緊急時連
宇佐美武幸 090-7025-9607
上澤千恵子 090-9339-8034

コース

ウォーク 柚木駅…雁公園(体操)…水神社…実相寺(WC)…岩本山公園(WC)…山本勘助誕生地…

8:30	8:35~8:50	9:00	9:45~55	10:25~35	11:20~30
山本八幡宮…潤井川グランド(昼食・WC)…浅間大社…きらら					
11:45	12:00~40	13:30	13:40		
* ゆったり 山本勘助誕生地…笠井田公園(昼食・WC)…富士根駅=富士宮駅…きらら					
11:30	11:50~	JR 料金は個人負担です。			



富士根駅発
身延線時刻表(富士宮方面)

11:52	12:27	12:55	13:25
-------	-------	-------	-------

総会のお知らせ

会場 富士宮市駅前交流プラザきらら
時間 14:15~16:00
駐車場 きらら駐車場(2時間30分無料)
駅前駐車場(200円)も利用できます。

コース紹介

柚木駅から雁公園まで歩き、体操をしてウォークスタートです。雁堤の上を歩き、富士川手前の水神社に行きます。入口に「旧富士登山道」の道標を見て、神社にお参りをしましょう。この神社のそばに富士川渡船場の跡があり、関西方面から来た人たちが富士川を船で渡り、この地より岩本・高原を経て、富士宮浅間大社をめざし、富士登山をしたと言われる道をたどります。神社を出て雁堤の中にある畑やグランドを通り、岩本実相寺に寄ってトイレを借ります。お寺を出て右折左折をしながら行き、山神社の前から岩本山の登りです。やや急な坂ですがゆっくり行けば大丈夫。岩本山公園でトイレを済ませ、高原のお茶畑の中を進み、新東名のトンネルの上を行くと広い道に出、ガソリンスタンド前を右折して坂を下ってゆくと山本に出ます。山本勘助の母・安女(やすめ)の墓の前を通り、勘助誕生地の碑のある場所に着き、見学をします。ここで普通コースとゆったりコースに分かれます。普通コースは山本八幡宮を通り、潤井川グランドで昼食です。午後は南部公民館前を通り、潤井川沿いに進み、「ふれあいのこみち」をすこし歩き、浅間大社を経て総会会場であるきららまで行きます。ゆったりコースは富士根駅前の笠井田公園で昼食後、電車で富士宮駅に向かいます。



次回申込 (昼食場所で)
御殿場線19駅ウォーク(第2ステージ)

☆期日 2月22日(日)
☆集合 富士宮駅南口 7:30
☆参加費 3500円
☆切 2月17日(火)



水神社

水神社は富士川の流れや富士川の渡し、今では富士川橋を守る神さまで、ご祭神は弥都波能売神(ミツハノカミ)である。富士川は男神だから、それを鎮める女神である。境内には旧富士登山道の道標がある(享保8年⇒1723年)。

実相寺

宗祖日蓮大聖人が、一切経を閲読し、『立正安国論』執筆の構想をねった寺である。もとは天台宗の寺で、久安元年(1145)鳥羽上皇が比叡山横川の智印法印に命じて創建した。円珍が唐から持ち帰った一切経が納められていた。宗祖当時は49院50坊を数えたという。

山本勘助誕生地

吉野本家の祖は、大和国吉野郷に始まり、南北朝の動乱後、吉野貞倫が八幡大神の神霊を背負って山本に土着した。初代「貞倫」、2代「貞久」、その子「貞宗」「貞幸」兄弟、勘助は貞幸の三男であった。吉野家は連綿と続き、江戸時代には3000石の陣屋代官を務めていた。誕生地の碑は、吉野本家に大正13年静岡県補助金も加えられ、昭和天皇御成婚を祝して建てられた。この石碑は、長屋門の手前左手奥に建っている。碑の裏面には、勘助の出生から川中島の合戦で戦死するまでの事暦が略記されている。吉野本家から約100mの地に勘助の母、安女(やすめ)の墓がある。吉野本家の墓地を整備した際、孤立していた「安女の墓」を吉野本家の墓域の中に移し、あらためて供養したものである。

山本八幡宮

現在は山本八幡宮といわれているが、多田八幡宮(とうどののはちまんぐう)ともいい、この社の森を「多田森(とうどのもり)」とっていた。多田八幡宮とは多田満仲源満仲(ただまんじゅうみなもとのみつなか)を祀った源氏の氏神である。この八幡宮を勧請した吉野貞倫が、源貞倫と源氏を名乗っているの、源氏の氏神を祀ったものと考えられる。また、吉野家から見ると丑寅の方角、鬼門に当たるので、吉野家の鬼門封じの神社であったのではないかとと思われる。